広報
とうきょう消防 第16号
TOKYO FIRE NEWS

平成27年2月22日発行（年4回発行） 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1−3−5 電話：03−3212−2111（代表） ホームページ：http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容
< 1面 > ストーブ火災に注意!
< 2面 > 救急車の適正利用をお願いします! <救急相談センター／救急受診ガイド／応急手当の手順>
春の火災予防運動 Miniコラム プレゼントコーナー

Q 火災の原因として一番多いストーブは?

1.石油ストーブ　2.ガスストーブ　3.電気ストーブ

都民へのアンケート※では、火災発生の危険性が高いと思う暖房器具は、80%の人が「石油ストーブ」と答えています。続いて「ガスストーブ」「電気ストーブ」の順となっています。 ※東京都「ストーブの安全な使用に関する調査」より

しかし、実際に多くの火災の原因となったのは…

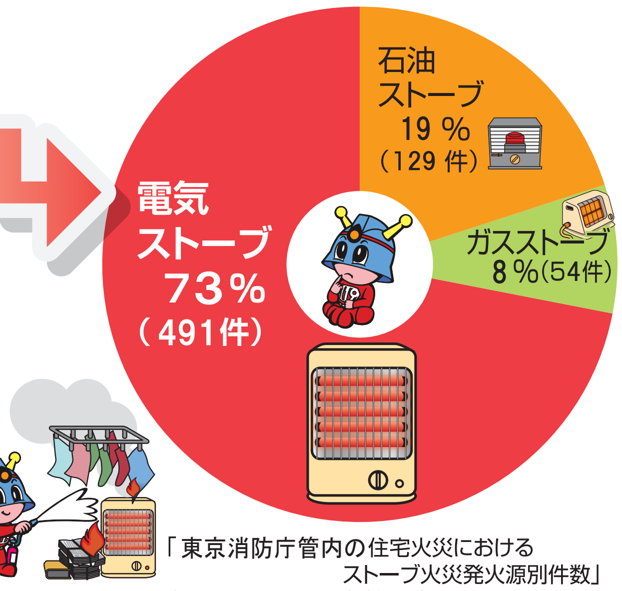
A 電気ストーブです!

ストーブ火災の7割を占めています。

平成21年～平成25年の5年間で、ストーブから出火した住宅火災の7割以上が電気ストーブ（カーボンヒーター、ハロゲンヒーター等含む）が原因です。死者も5年間で33人と多数発生しています。

電気ストーブは、給油等の手間がかからないことから、手軽で安全にみえますが、誤った使い方をすると危険です。特に寝具類や衣類、洗濯物などが接触して出火した火災が、電気ストーブで多く発生しています。

火災を防ぐポイントを再確認し、尊い命を守りましょう。



「東京消防庁管内の住宅火災における ストーブ火災発火源別件数」（平成21年～25年）（総件数 674件）

ストーブの火災実験映像<東京消防庁>

火災を防ぐポイント（電気ストーブ編）

電気ストーブの周りに、物を置かない!

布団、衣類、雑誌などの可燃物をストーブのそばに置かないようにしましょう。
また、ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさないようにしましょう。

寝る時、離れる時はスイッチを切る習慣を!

電気ストーブ火災は、夜中から明け方にかけて最も多く発生。寝返りなどで布団がストーブに接触するおそれがあります。寝る時はスイッチを切り、使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

電源プラグや電源コードの清掃・点検を!

電源プラグにホコリがたまらないよう、こまめに掃除しましょう。転倒オフスイッチ等の安全装置が付いているかを確認しておきましょう。

春の火災予防運動

3月1日日～3月7日土

平成26年度 東京消防庁防火標語
うれしいね 防火で笑顔の 人と町
作者 入月 千代子さん（世田谷区在住）